

—黒住教のご案内—

黒住教は江戸時代に創始された神道十三派の一つとして、深い歴史と伝統を持つ神道教団です。本資料では、黒住教の基本理念から葬儀、霊園のご案内まで、神道式で大切な方を送るための情報をご紹介します。死は終わりではなく、神の一柱となる新たな出発の時。「生き通し」の道を歩む黒住教の死生観と共に、ご家族の大切な時をお手伝いいたします。

黒住教の概要

主祭神

- 天照大御神（あまてらすおおみかみ）
- 八百万神(やおよろずのかみ)
- 教祖宗忠神(きょうそむねただしん)

教祖

黒住宗忠（くろずみ むねただ）
安永9年11月26日（1780年12月21日） - 嘉永3年2月25日（1850年4月7日）

立教

文化11年（1814年）11月11日
黒住宗忠が「天命直授」とよばれる宗教的神秘体験を経て、天照大御神と一体の悟りを得て立教

本部所在地

〒701-1212
岡山県岡山市北区尾上 2770

お問い合わせ先

黒住教学院
TEL：086-284-2125
Mail：kurozumikyogakuin@gmail.com

黒住教は、神道十三派の中で最も歴史ある教派の一つとして、日本の伝統的な神道の教えを大切にしながら、現代に生きる私たちの心の拠り所となっています。教祖・黒住宗忠は神職の家に生まれ、深い信仰と実践を通じて天照大御神の御心に触れ、私たち人間の本质と生きる道を説きました。

死に対する考え方

黒住教は、江戸時代の文化11年（1814）11月11日（旧暦）の冬至に、代々の神職の家に生まれた黒住宗忠が日の出を一心に祈る中に尊い神秘的体験を得て、立教なった神道教団です。

宗忠は、人間は天照大御神のご分心（わけみたま）をいただく神の子であると説いて、よりよく生きるための道を教示しました。それは人の死は終わりのときではなく、神の一柱となる新たな出発のときという死生観でもあります。

「限りなき生命の道を導かん重ね給えよ萬世までも」

と宗忠は教えていますが、故人の霊様はご遺族の守護の神として、"生き通し"の道を歩まれることと確信いたします。

黒住宗忠詠

天地の心のありか尋ぬれば己が心のうちにぞ有りける

心とはほかにはあらず天地の有無を離れし中の活物

天照らす神のみ心人ごころひとつになれば生き通しなり

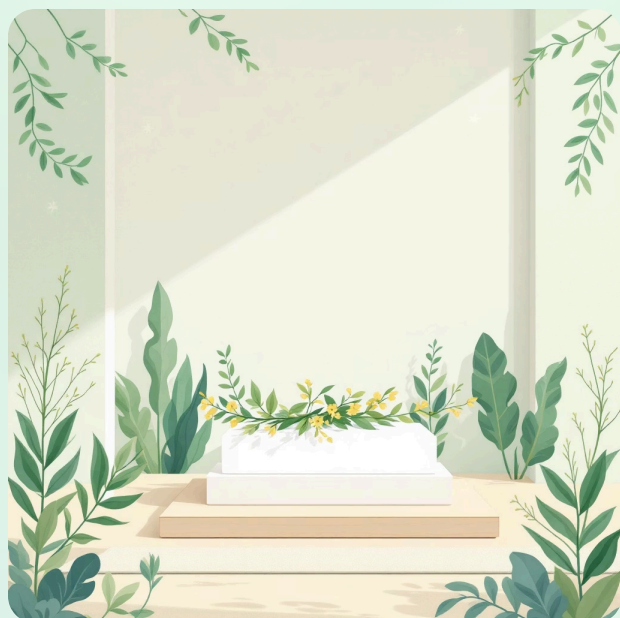
天地とおないどしなる道の友かわり給うな萬世までも

限りなき生命の道を導かん重ね給えよ萬世までも

全国各地の教会所において、生前のうちに黒住教の御教えに基づく信仰生活を整える「まつりごと」(式年祭/しきねんさい)をお勧めしております。信者(お道づれ)の皆様には、このエンディングノートを活用いただき、ご家族と共に所属教会所への参拝・相談を行い、安心した日々をお過ごしくださいますようご案内申し上げます。

ご葬儀について

本教におけるご葬儀は、故人の御霊を敬い、教祖神のみ手引きのもと、天照大御神様の御元へお送りする大切な祭儀です。死生観においては、私たちの命は神様の御分霊であるとの信念に立ち、人生の締めくくりもまた神様への感謝をもって営みます。



黒住教式葬儀の特徴

- 熨斗（のし）や供物には「玉串料」や「御神前」と表記（「香典」などの仏教用語は避ける）
- 喪主の挨拶例：「おかげさまで無事に御祭りをおつとめすることができました。皆様の御支援に感謝申し上げます。」
- 通夜 → 親しい方々と共に、故人の御霊に寄り添いながら昇天のご報告
- 告別式 → 教会所長が斎主をつとめ、生前の御信心に感謝を込めて御祭り

1

本教式のマナー

神式での服装は喪服（黒）で可

2

お持ち物

数珠の持参は不要

3

お参りの方法

焼香の代わりに玉串奉奠

❶ まずは、所属教会所長にご一報ください。

※黒住教の祭儀に通じた葬儀社をご紹介します。

黒住教式の葬儀は、厳粛さの中にも明るく清らかな雰囲気大切にしています。故人様が神様の御元へと帰られる旅立ちの儀式として、深い敬意と感謝の念を込めて執り行います。祭壇には榊や神饌を供え、玉串を捧げることで、神様と私たちの繋がりを表現します。

また、本教では葬儀後の継続的な御祭りも重視しており、ご遺族の方々の心の支えとなるよう、各段階での御祭りの方法についても丁寧にご案内いたします。ご不明点やご要望などございましたら、いつでも所属教会所へご相談ください。

霊園・信徒墓のご案内

本教には、岡山市北区・神道山境内の「神道山霊苑殿」や京都・神楽岡宗忠神社境内の「祖霊殿」など、全国に霊園や信徒墓がございます。地元教会所が信徒墓を設けている場合もありますので、詳細は各教会所へお尋ねください。

主要霊園施設

- ・ 岡山市北区にある 神道山・霊苑殿
- ・ 同じく岡山市北区 大元 宗忠神社・祖霊殿
- ・ 京都市左京区 神楽岡 宗忠神社・祖霊殿
- ・ 東京都 東京大教会所 合同奥津城



神道山 霊苑殿とは…

私たち黒住教では「敬神崇祖」の心で、ご先祖様の御霊まつりを大切に斎行してまいりました。平成12年、教祖宗忠神ご昇天150年の年に、教祖生誕の地である大元宗忠神社の奥庭に、お申し出の皆さま各家のご先祖様（ご遺骨）を納めお祀りできる「大元祖霊殿(納骨殿)」を建設しました。

この度、皆さまのご要望を受けて神道山・黒住教本部に「神道山 霊苑殿」が竣工いたしました。霊苑殿は大元 祖霊殿と同様に皆さまのご先祖のご遺骨をお納めできる霊舎（納骨棚）を設えた納骨殿です。

365

日々の御祭り

毎朝、黒住教本部の神職が霊苑殿御神前において"御霊まつり"をおつとめします

2

年間祖霊祭

春分、秋分の日「祖霊祭」をおつとめし、自由にお参りいただけます

緑あふれる、霊地神道山 霊苑殿をあなた様ご家族の永遠の住処におすすめします。

春彼岸祭春季祖霊祭

式年祭

日々拝礼

秋季祖霊祭

霊苑殿のご案内と御祭りについて

神道式による清々しい祭祀

霊苑殿御神前において納骨祭はもとより、式年祭も行うことができます。たとえば家宗が仏教など他の宗教でありまして、ご本人及びご家族の方が「黒住教による祭祀」を了承いただければ可能です。(別途神撰玉串料等を納めていただきます)

また、納骨祭式年祭をおつとめいただく時の、待合室があります。お直会(会食)には「しんとうざん茶店」をご利用いただけます。なお、多目的トイレ、エレベーターを完備していますので、車イスでの参拝も可能です。

このような方におすすめします

- 後継ぎがなく、後代相続が心配な方
- 子供はいるが、遠方に在住して(嫁いで)いるために、自分たちが亡くなったあと、将来、先祖の墓ともども無縁墓にならないために、安心できるお墓をお求めの方
- 郷里を離れて、頻繁に墓所へのお参り、草刈り、清掃ができない方
- 分家をされた方

※新たに墓所をお求めの方は、生前申し込みをおすすめします。

区切りごとの年祭について

本教では、以下のような節目に御祭りを行い、御霊を敬います。

- 毎十日祭（10日・20日・30日・40日目）
- 五十日祭（50日目）並びに納骨祭
- 一年祭
- 三年祭
- 五年祭
- 十年祭
- 二十年祭
- 三十年祭...

三十年祭をもって「御供養明け（おくようあけ）」とする例もありますが、各家の信仰の深さや地域の習慣によりご相談ください。

ご自宅での御祭りについて

本教では、ご自宅に御神前（ごしんぜん）に天照大御神様・八百万神様・教祖宗忠神を、また霊舎(れいしゃ/みたまや)には教祖宗忠神と、ご先祖の御霊様をお祀り申し上げます。

日々の礼拝を通じて、感謝と誠の心を育み、御神縁を深めてまいります。

※お社（やしろ）の設置をご希望の方は、所属教会所長を通じて神具店をご紹介します。



墓標・霊標について

墓標は「何某家 奥津城（おくつき）」とし、霊標には男性は「〇〇 大人（うし）」、女性は「〇〇 刀自（とじ）」とお書きします(霊号の標記は個人の生前の功績等に基づき変化します)。また、昇天日は「令和〇年〇月〇日昇天 享年〇〇」と記します。

近年の海洋散骨や合同墓については、別途個別にご相談ください。御霊は天照大御神様の御許に帰られる尊い存在とされるため、個別に大切にお祀りすることが基本です。他家との合祀についても、信仰の一貫性を大切にするため、黒住教では慎重な判断が求められます。

※建墓に関しても、信徒墓を熟知した石材店をご紹介しますので、教会所長を通じてご相談ください。

よくあるご質問と問い合わせ先

Q：自宅に仏壇がありますが、先祖が黒住教の信者であったと分かり、家宗を黒住教に改宗したいのですが、お墓が寺院墓地にあります。どうすればよいのでしょうか？

A：本教では、「すべての人は神の分霊であり、皆、神の子である」との教えに基づき、信仰の自由と複式(転宗・改修・改式)を尊重します。お墓の移転やご先祖様の御霊の御祭りについては、教会所にご相談いただければ、誠意をもってご案内いたします。

Q：教会所でエンディングノート作成を勧められましたが、兄弟間で親の資産相続について揉めており、困っています。

A：教祖宗忠神の和歌に「海あれば山もありつる世の中に狭き心を持つな人々」と御教えくださいました。家族の中での争いごとを最小限にし、故人の御霊が安心して天に帰られるよう、「私たちは仲良く、まことをもって立派にやっております」と胸を張って報告できるようにつとめてまいりたいものです。

法律はもちろん尊重しつつ、信仰に基づいた心の整えが大切です。まずはご家族揃って教会所にお参りいただき、教会所長よりお道のお話を聞きくださればと存じます。また、黒住教学院では折りにふれて「エンディングノート作成ワークショップ」も開催されています。

Q. 黒住教の永代供養はどこで行えばいいですか？

黒住教とは、江戸時代に開かれた神道十三派のうち最も歴史のある教派です。本部のある岡山と京都に「霊苑殿（れいえんでん）」「祖霊殿（それいでん）」と呼ばれる施設を持っています。

ご家族・教会所所長ともご相談の上、お申し込み・お問い合わせください。

エンディングノートの記入について

このノートは、ご家族皆様が信仰と生活の両面で安心して日々を送るための手がかりとしてご活用ください。エンディングノート自体には法的拘束力はございませんが、教えに則って「まことを尽くす」日々の中で、その意義が大きくなります。

記入後は、必要に応じて超宗派の宗教者で構成される公益団体「宗教者支援協会」などにご相談されると、法的な手続きや心のケアについても適切なサポートを受けられます。

問い合わせ先

黒住教本部

〒701-1212 岡山市北区尾上神道山

TEL：086-284-2121

FAX：086-284-4756

エンディングノートに関する問い合わせ先

（非営利型）一般社団法人 宗教者支援協会

電話：078-855-4630

FAX：078-855-4631

Mail：info@shukyosha-shien.net



☐ お気軽にお問い合わせください

ご不明な点や詳しい資料のご請求など、黒住教に関するお問い合わせはいつでも歓迎いたします。教会所長や本部スタッフが誠心誠意お応えいたします。